

日吉ダム貯水池の状況について

日本付近に停滞していた梅雨前線は、7月12日から15日にかけて西日本に大雨をもたらしました。日吉ダム上流域でも7月14日の20時から22時の流域平均2時間当たり雨量が71.9mmを記録し、総雨量は170mmに達しました。

この降雨による出水により、日吉ダムでは最大流入量が（15日1時18分）毎秒698 m^3 となり、日吉ダム管理開始以来二番目のダム流入量を記録しました。最大流入量時には、ダムで最大毎秒548 m^3 を調節し、ダムからの放流量を毎秒約150 m^3 とする洪水調節を行い、合計約1,077万 m^3 の流水を貯水池に貯め込みました。

今回の出水により、貯水池には、濁水の広がりが見られるとともに、多量の流木の流入がありました。出水直後を最大として、貯水池内の濁水は徐々に低下（図－1）していますが、濁りが収束するまでには時間を要するものと考えています。

選択取水設備により、可能な限り濁りの低い水深からの取水を行っています。7月21日現在でダム下流の濁度は、17度程度となっており、放流水の濁りが継続（図－2）しています。

関係機関の皆さまにおかれましては、何卒ご理解のほどお願いいたします。

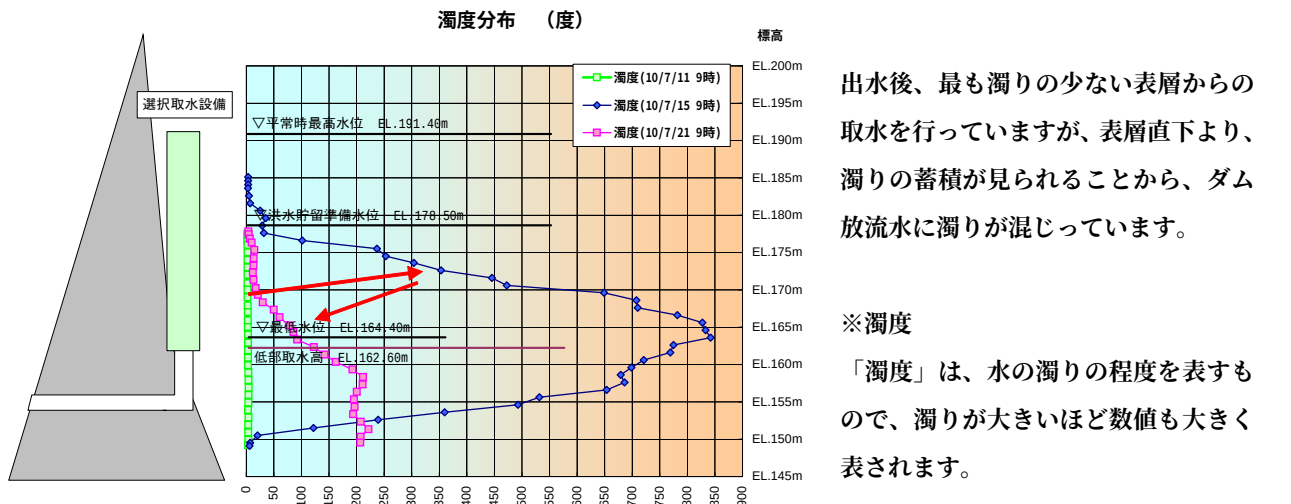
日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。



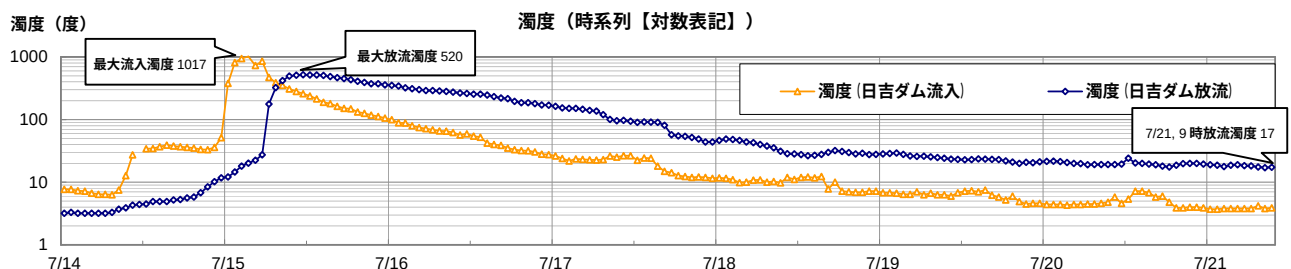
日吉ダム貯水池（7/20）



日吉ダム放流地点（7/20）



図－1 日吉ダム貯水池の濁度分布



図－2 日吉ダムの流入濁度と放流濁度